

430MHz帯 $\frac{5}{8}\lambda$ 3段モービルアンテナ

DP-EL730

全方向回転ホイップ付

取扱説明書

●ダイヤモンドアンテナお買いあげのみなさまへ

このたびはダイヤモンドアンテナをお買いあげいただきまして、ありがとうございました。この取扱説明書はアンテナの正しい取り扱い方法と、簡単な調整について説明してあります。よくお読みいただいたうえいつまでもすぐれた機能が発揮できるよう、本書を十分にいかしてご使用ください。

なお、お買いあげいただいた製品は厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、万一運搬中の事故などによる破損がありましたら、取扱店にお申し付けください。

●まえがき

DP-EL730は $\frac{5}{8}\lambda$ エレメントを3段に積み重ねたコーリアアンテナです。このため、垂直面のパターンがきれいにモービルでの遠距離通信も十分に可能となりました。

また構造的にも数々のすぐれたアイデアにより高利得、高安定、低コスト化にも成功しております。

●DP-EL730の特長

1. $\frac{5}{8}\lambda$ 3段積み重ねモービルアンテナで、6.7dBの高利得を実現しました。これにより、モービルでのDX通信が可能となりました。
2. マッチングセクションの適正化により、広帯域、高能率で低いV・SWRが約束できます。430MHz帯アマチュアバンドの10MHz間をすべて1.5以下でカバーします。
3. 常時安定したQSOができるよう、上部・中間エレメントには17-7PHステンレスを採用。アンテナのゆれによって起きるQSBをできる限りおさえました。しかもアンテナ全体のバランスを考慮し、適正な径のテーパーエレメントを採用しています。
4. 全方向回転ホイップ機構(実用新案出願済)の採用で、車庫入れ時のめんどろなエレメントの取りはずしが不要に

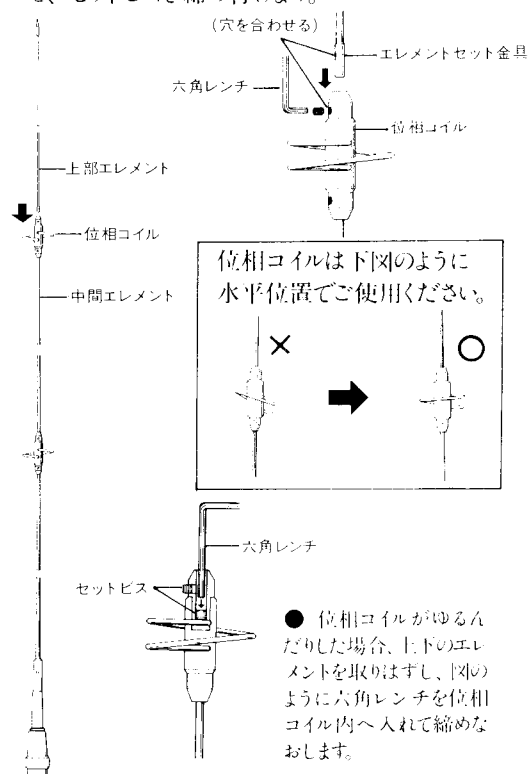
なりました。回転ホイップ部を引っ張り上げあとは360°の方向へも倒せます。

全方向回転ホイップについては〈ご注意〉の項目を必読ください。

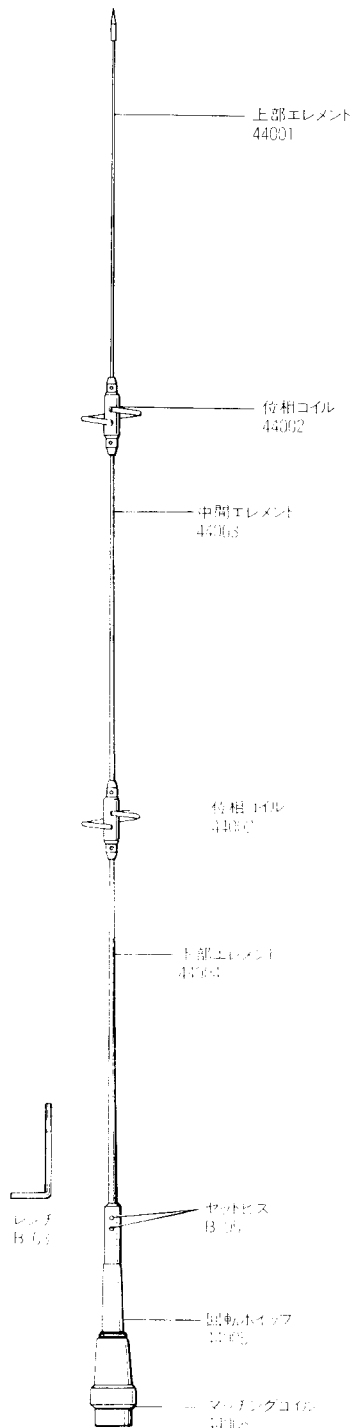
●組立方法

組み立ての前に、まず各部の名称(裏面)を確認してください。

上部エレメントを中間エレメント先端に付いている位相コイルへ接続します。接続方法は、位相コイルに付いているセットビスを付属の六角レンチでゆるめ、上部エレメント下端にある、エレメントセット金具の穴を位相コイルの穴に合わせ、セットビスで締め付けます。



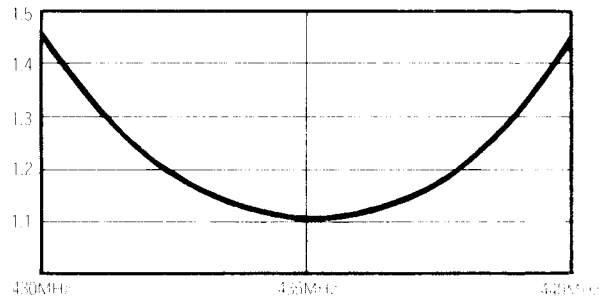
●パーツ名称(番号)



●調整方法

DP-EL730の周波数調整は、回転ホイップ内における下部エレメントの上下スライドで行ないます。通常運用される場合は、エレメントを回転ホイップ内の中心位置にセットしてご使用ください。

●V.SWR表

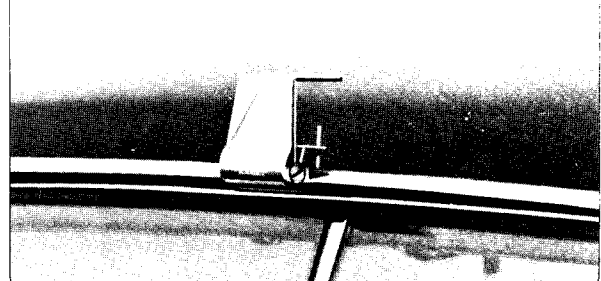
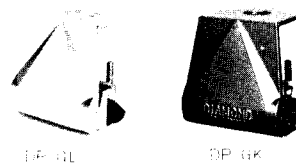


●ご注意

DP-EL730の回転ホイップは全方向性のため、走行中は倒さず走行してください。

セットビス、マッチングセクションなどの取付部を十分にチェックしてから走行してください。QSO中は特に他の車にご注意ください。安全運転で余裕のあるQSOを。

DP-EL730を車へ取り付ける場合、ダイヤモンドアンテナよりルーフサテライト取付金具DP-GL、DP-GK(ブラック)が用意されています。純正アクセサリをお使いください。同軸ケーブルは50Ω系のものをお使いください。(いずれもダイヤモンドアンテナよりオプションとして用意されています)



●規格

周波数	インピーダンス	V.SWR	利得	全長	重量	耐入力	仕様
1.4 ~ 1.8MHz	50Ω	1.0以上	0.0dB	1.5m	550g	100W (CW)	国産モノコイルホイップ 全方向回転ホイップ機構成

第一電波工業株式会社

本社 〒175 東京都板橋区高島平 9 24 13 TEL 03(935)0911代
 大阪営業所 〒556 大阪市浪速区日本橋東1 6 13 TEL 06(644)4081 2
 技術研究所 〒350 川越市大字府川 8 0 6 5 TEL 0492(24)6468代